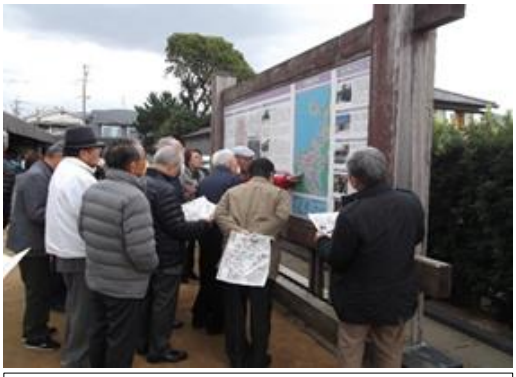
番号	3	県別	岡山	事業場所	旧山陽道矢掛宿の町並み全域
実施団体等	備中矢掛宿の街並みをよくする会			代表者	藤原　令三
事　業　名	旧山陽道矢掛宿の空き家調査・有効活用プロジェクト				
事業目的	少子高齢化・過疎化の波が空き民家の増加を招き、利用されることなく放置される古民家が増え続けている。地方の歴史・文化が濃縮されている古民家の空き家を活用することにより、空き家の減少を図り地域全体の再生を促進する。				
事業概要	空き家、空き店舗調査を行い古民家再生有効活用に向け、従来の活動に加え平成 26 年７月に空き家プロジェクトを立ち上げた。民間団体では活動範囲が制限されるため会員 135 名の同意を得て平成 27 年４月以降ＮＰＯ法人として活動を行う予定。				
事業効果	矢掛において、空き家調査・有効活用の活動が体系的に行われたのは、本事業が最初であり、有意義なものであった。特に空き家については個々には把握していたが、マップに空き家を記入することによりほぼ全体像が分かったこと。今後の空き家有効活用について意義のあるものになった。				
活動状況	 空き家調査の様子 矢掛世代間シンポジウム 矢掛の古民家 使って残せ 住民団体　空き家で野菜市や映画上映 「宿場町の風情 次代に」 空き家になった江戸期の建物を調査するメンバー 井笠　おかやま  萩・津和野　視察研修				